



令和5年3月号



さくらの開花予想

天気相談所では、毎年この時期にさくらの開花予想を発表しています。2月中旬に第1回を発表後、約2週間ごとに合計3回の平和通りのソメイヨシノを対象とした予想を発表します。ここ10年間の予報の精度は第1回は誤差5日、第2回は3・9日、第3回は2・5日となっています。

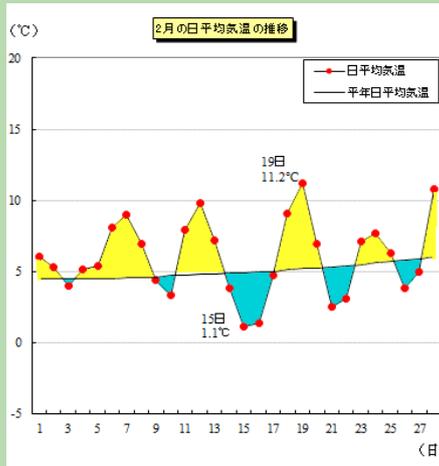
今年の第2回目の予想は3月3日に発表し、開花が3月24日頃、満開が4月1日頃の予想です。第3回の予想は3月17日発表予定です。また、開花の状況については随時天気相談所のホームページでお知らせしていきますので最新の情報を御利用ください。

下の二次元
バーコードは
天気相談所HP



2月の気候

2月は、低気圧と高気圧が交互に進みました。上旬は北や南を低気圧が進む日が多く、晴れの日が多くなりましたが、中旬からは周期的に天気が変わるようになりました。気温の変動は大きく、月平均気温は6・0℃と平年より高くなりました。10日と20日は一時的に雪が降るときもありましたが、降水量はあまり多くなく、月合計降水量は34・5ミリと平年の約70%と少なく、月合計日照時間は190・7時間と平年より多くなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

3月は天気が数日の周期で変わり、平年同様に晴れの日が多く、暖かい空気に覆われやすい見込みです。平均気温は「高い」降水量は「ほぼ平年並み」日照時間は「ほぼ平年並み」の予想です。

さくら開花予想のやり方

ソメイヨシノは開花予想がしやすいため、様々な開花予想が発表されています。それぞれやり方が違うのですが、一番使われているのは、今までの気温とこれからの気温を元にした予想です。日立市天気相談所で行っているやり方について簡単に紹介します。

過去の気温といっても、1月や2月の気温、平均気温や最高気温など様々あるため、これらのうち、どれが開花日に関係が深いかを調べ、その値を使った数式を作ることです。現在、1月の最低気温と最高気温、2月の平均気温、3月の平均気温と最高気温を使っています。2月に予想するときは、1月の気温はその年の気温が使えますが、2月と3月はまだ使えないため、気象庁の長期予報を参考に、それらの気温の予想をします。予測する項目が3つあり、1℃違うだけで5日も開花日が変わることもあります。また、気温の予測がうまくいっても、開花直前が寒いのか暑いのか、雨なのか晴れなのかによっても、数日違ってくるため、第3回の開花予想では、天気についても考慮しています。

ただ、実際は予測通りにいくことのほうが少なく、平均では2・5日の誤差でも多いときには6日ずれてしまった時もありました。



天気用語の基礎知識

波浪注意報

高波による遭難や沿岸施設の被害が発生すると予想される場合、波浪注意報が発表される。日立市における基準は注意報は2・5m、警報は6・0mとなっている。この波の高さは「有義波高」というもので、目で観測した波の高さに近い値になると言われている。有義波高はこの高さ以上の波はないということではなく、百回に一回は1・5倍の、千回に一回は2倍の波がある可能性がある。なお、波浪特別警報は波の高さが基準ではなく、原因が数十年に一度の強度の台風などの場合に発表される。

・・・神峰の山から・・・

1993年の2月19日。今年でちょうど30年前になるこの日、日立鉾山の火煙突が高さ3分の1を残して倒壊しました。日立市天気相談所の誕生にも関わりが深い、鉾山による煙害対策のために作られた煙突ですが、日立市を象徴するもののひとつです。短くはなってしまうましたが、現在でも現役で、時々見える煙突から出る白い煙の様子を観察することで、上空の風の流れなど様々なことを知る事ができるため、今でも、天気予報をする際の参考にすることもあります。

火煙突が倒れたと知って、その夜ショックで寝込んだことを思い出しました。